

①「温州ミカン」の「温州」は、なんと読みますか。

( )ミカン

②柑橘類を5つ書きましょう。

( ) ( )  
 ( ) ( )  
 ( ) ( )

③静岡県で多く生産されている青島ミカンと寿太郎ミカンの特徴をまとめましょう。

④「静岡県民はミカンが好き。」という理由が、どのような物からわかりますか。



(漫画・かとうひな)

柑橘類は世界で最も生産量の多い果物で、日本でも温州ミカン、アマトツハツサカ、ボンカン、キヨミハルミイヨカン、レモン、ユズなど多彩な種類が生産されている。その中でも日本人に最も身近なものは温州ミカンであり、温州が中国の地名に由来するため中国原産と思われるが、鹿児島県発祥の柑橘で、わが国独自の品種である。

静岡県には優良品種である青島ミカンや寿太郎ミカンなどが知られており、普通温州(温州ミカンの種類)に限定するとその生産量は日本一。青島ミカンは、静岡市の青島

県立大  
 しまんが  
 ずおかのDNA

⑤ 温州ミカンの一大産地

黒柳 正典(客員教授、生薬・天然物化学)



## 機能性表示食品に承認

平土氏によって発見された晩生のミカン品種で、甘味が強く適度に酸味を持ち、味にコクがある。寿太郎ミカンは、沼津市の山田寿太郎氏により、青島ミカンの枝替わりから発見された品種である。

2015(平成27)年に消費者庁により機能性を表示することのできる「機能性表示食品」が制度化されたことにより開発競争が行われ、多くの機能性表示食品が承認されている。日本有数のミカン産地である浜松市の三ヶ日地域で生産される「三ヶ日ミカン」は、豊富に含まれているカロテン(β-クリプトキサンチン)が骨の健康維持に有効であることが明らかとなり、生鮮食品としては初めて機能性表示食品として承認された。

これをきっかけとして、トピアミカン、西浦ミカン、清水のミカン、大井川ミカン、アローマメロン、クラウンメロンなどが、本県発の生鮮食品の機能性表示食品として承認されている。さらに、他県からもミカン、リンゴ、モヤシ、トマト、ケールなど生鮮食品の機能性表示食品が次々と承認され市場に出てきている。

静岡県民はミカンが好きだ。県旗の富士山、清水エスパルスのユニホーム、県立大学の校章もミカン色。ミカン色は暖かさを連想させ、本県は温暖で日照量にも恵まれる。一大消費地首都圏にも近く、温州ミカンをはじめとする生鮮果樹園芸作物の生産地として、ますますの発展が期待される。

2019年12月16日朝刊

年 組 名前